

新資格制度 **スマートマスター** 登場

インテリジェント化する家と家電のスペシャリスト

ジャンルを超えたハイブリッドな知識で、
次世代の暮らしをナビゲート

家電製品協会認定資格「スマートマスター」誕生！



2016年 11月 25日

一般財団法人家電製品協会 認定センター
センター長 森 拓生

本日の話し

一般財団法人 家電製品協会・認定センターの組織と業容 ご紹介

<本論>

1. スマートマスターとは
2. スマートマスターを導入した背景と目的
3. 制度の概要
4. 制度導入までの経過と第1回試験の結果
5. 今後の課題と展開構想

一般財団法人 家電製品協会・認定センターの組織と業容 ご紹介

家電製品の販売、修理などに関する資格審査 (資格審査認定事業)

・スマートマスター

スマートハウスのプロフェッショナルとして、家の構造・性能に関する知識、家電製品から住宅設備、さらにはエネルギーマネジメントまで、それらに関する技術や商品の動向を理解し、様々な製品やサービスを組み合わせる横断的な知識をもって、消費者個々のニーズに合ったスマートハウスの構築を支援する資格です。

・家電製品アドバイザー

家電の販売・営業及び接客のプロフェッショナルとして、消費者の高品質選択、使用方法、不具合対応、廃棄等についてお客様を的確にリードしアドバイスする方々のための資格です。

・家電製品エンジニア

家電の設置、セットアップ、トラブル対応のプロフェッショナルとして、お客様の家電ライフをエンジニアの立場から支援する方々のための資格です。

家電製品に関する普及啓発、調査などの事業

主に次の事項に関する消費者啓発、調査・研究、行政施策への対応などを行っています。

- ・製品安全の確保と向上
- ・家電製品の使いやすさ
- ・省エネルギー対策
- ・消費者に対する警告表示
- ・家電リサイクル
- ・アフターサービスのあり方
- ・ユニバーサルデザイン
- ・長期使用家電製品の安全点検体制
- ・家電流通EDI
- ・製品アセスメント

家電リサイクルに関する事業

・家電リサイクル券システムを効率的に運用しています(家電リサイクル券センター事業)

・家電リサイクル法のもとで、排出者、小売業者、製造業者等が担う役割の円滑な遂行を可能とするため、家電リサイクル券システムを運用しています。
 ・家電リサイクル券システムは、リサイクル料金の回収・支払いと特定家庭用機器廃棄物管理票の運営補助が主たる機能です。

・製造業者等が担当する業務を補完しています(指定法人事業)

- ・中小規模の製造業者等の委託を受けて、その廃家電品のリサイクルを実施します。
- ・製造業者等が不明又は不存在の場合に、その廃家電品のリサイクルを実施します。
- ・廃家電品の引渡しに支障が生じている地域での廃家電品の引取りと引渡しを行います。
- ・廃家電品の収集・運搬、リサイクルの実施に関する調査、普及啓発を行います。
- ・廃家電品の収集・運搬、リサイクルの実施に関して排出者・市町村等の原単位に、これを処理します。

・不法投棄未然防止対策、離島における輸送改善対策を行っています(協力事業)

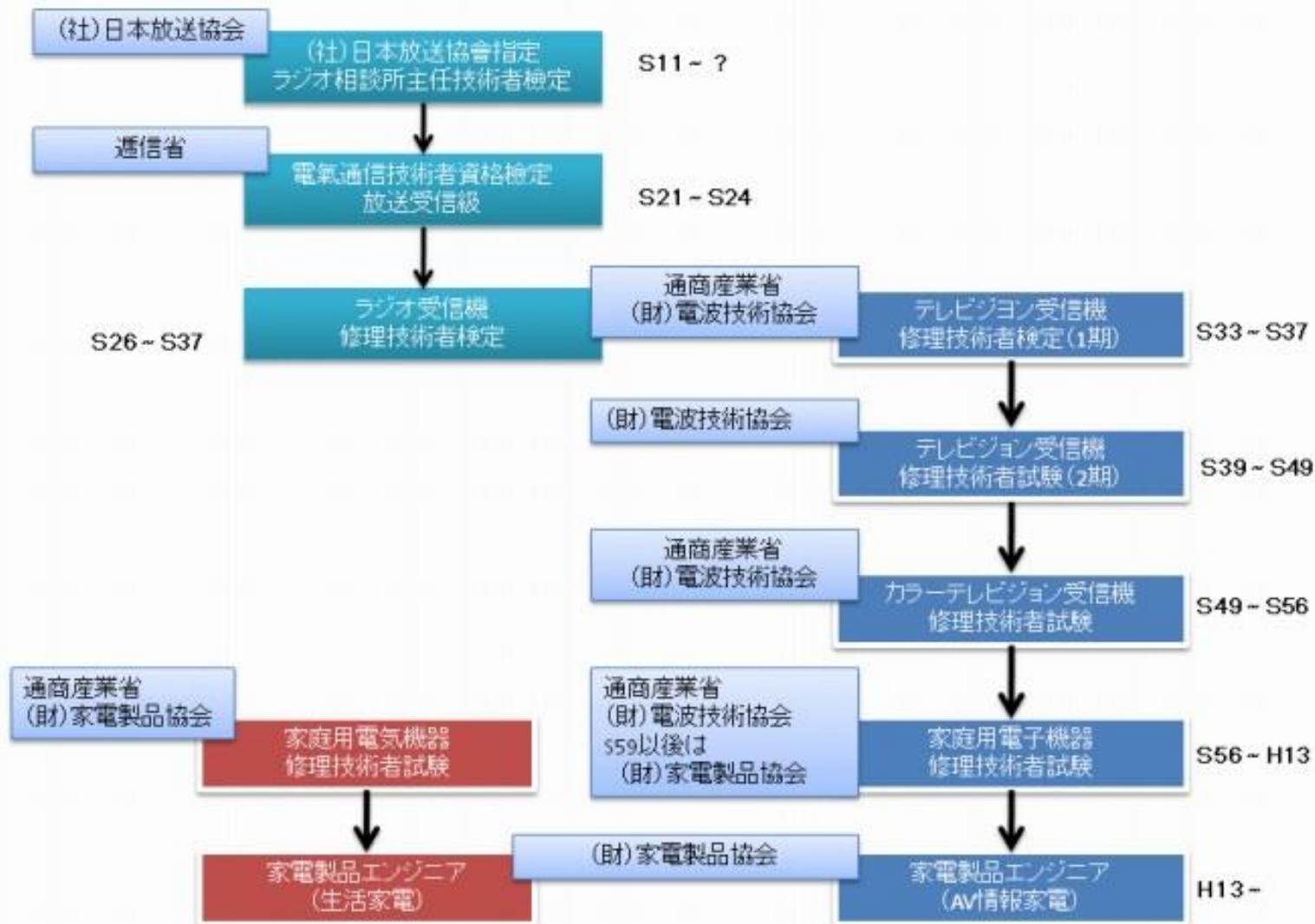
製造業者等の委託を受けて、地方自治体が行う不法投棄未然防止対策や離島における輸送改善対策に関して事業の実例などの紹介、事業の立案に対する助言、助成金の交付などを行っています。

家電製品の事故に係る紛争に関する相談手続、斡旋手続、裁定手続(家電製品PLセンター事業)

客観的な事実に基づき、中立的な立場を堅持しつつ、公正かつ適正に家電製品の事故にかかわるご相談等をお受けします。

家電修理資格の歴史

Ver1.0(2011年9月13日)
浅瀬野 調べ



1. 『スマートマスター』とは

＊スマートマスターとは、話題のスマートハウスに関する
専門知識を習得した人材に付与される新たな認定資格

＊スマートハウスに要す広範囲な知識に関する厳正な資格
制度としては、日本初の取り組み



認定証サンプル

<1/22記者発表会での説明>

『スマートマスター』は、スマートハウスのプロフェッショナルとして、家の構造・性能に関する知識、家電製品から住宅設備、さらにはエネルギーマネジメントまで、それらに関する技術や商品の動向を理解し、様々な製品やサービスを組み合わせる横断的な知識をもって、消費者個々のニーズに合ったスマートハウスの構築を支援する資格です。

2. スマートマスターを導入した背景と目的

原発問題

エネルギー問題
(化石燃料依存)
エネルギー問題
(輸入依存)



社会ニーズ・建造物的課題からの理由

ZEH化

COP21

エネルギー
革新戦略

家庭部門CO2
△39.4%削減

ZEHの推進
HEMSの普及

少子高齢
化の進展

介護や
独居老人
の対応

健康寿命
促進

治安問題
ホームセキュリティ
強化

生活ニーズ・技術的シーズからの理由

インテリジェント化

ビッグ
データ

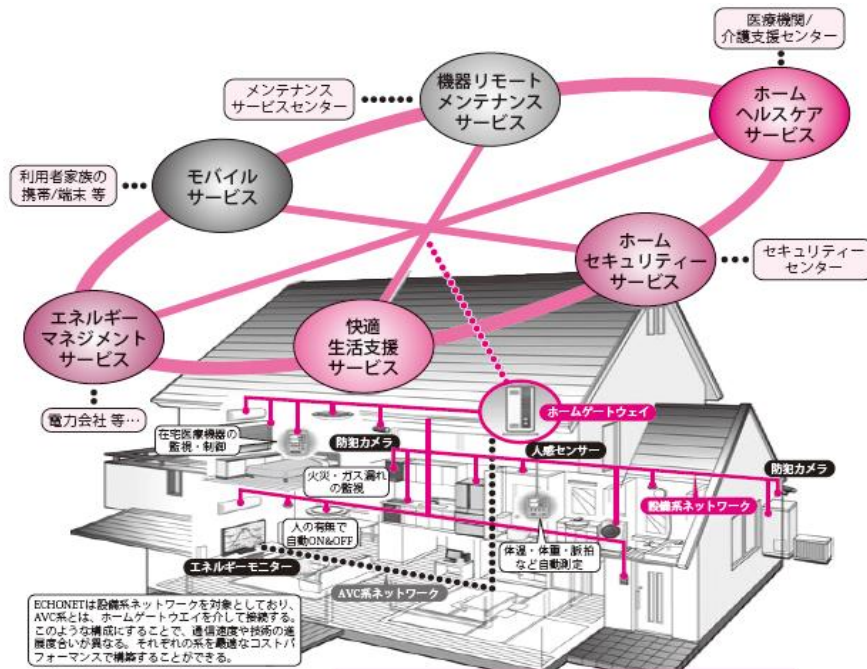
AI

IoT

ロボット

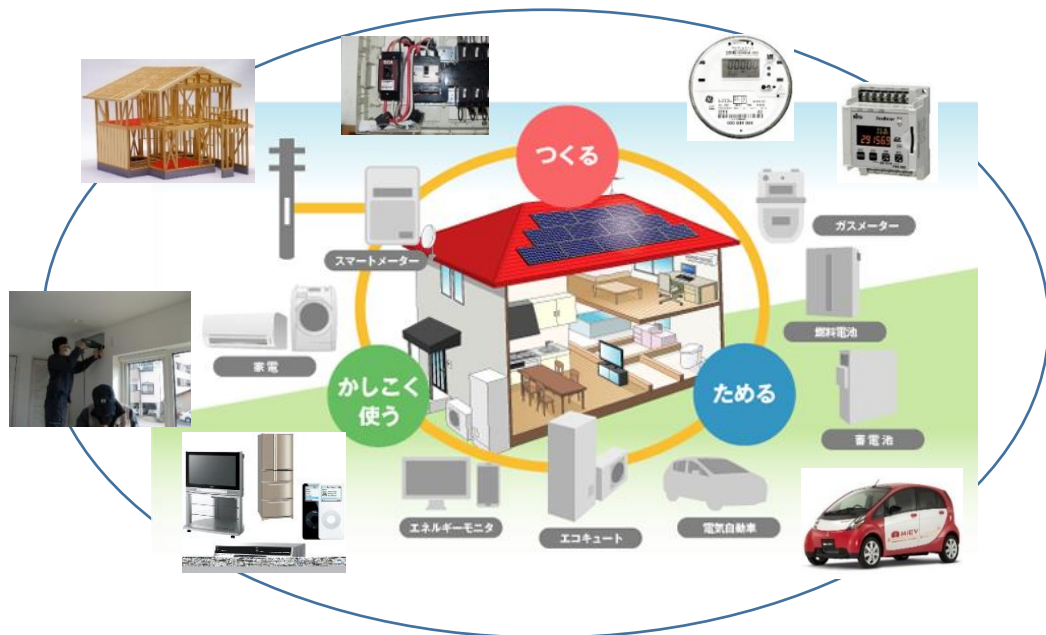


スマートハウスが進展する蓋然性

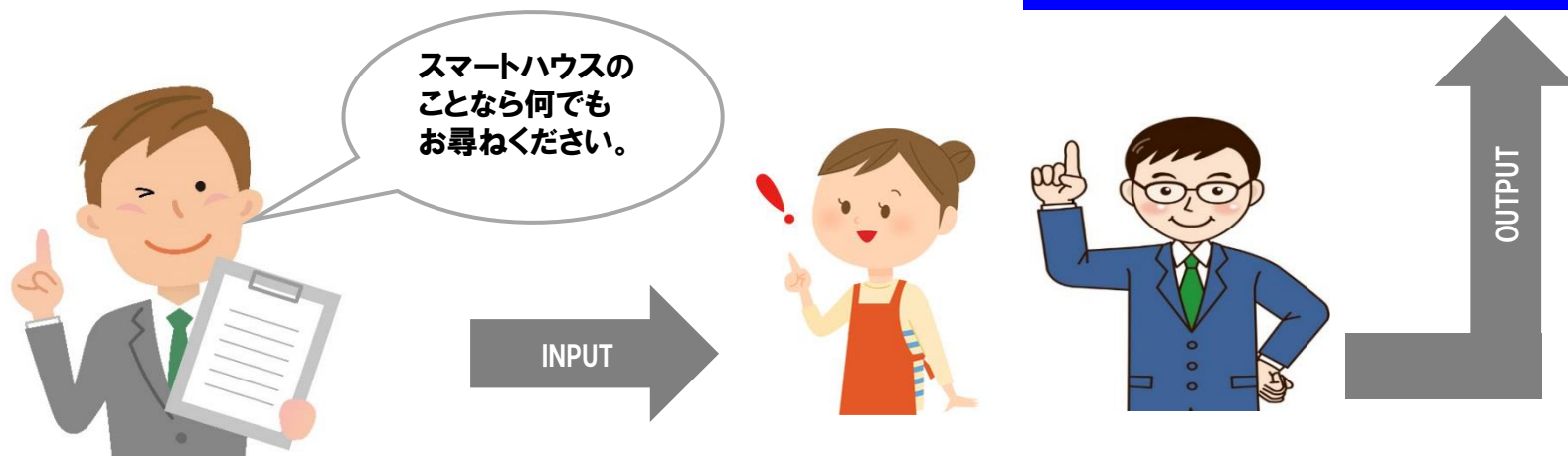


スマートハウスを進展させる必要性

スマートハウスのことに精通した人材の育成が急務



1. 夫々の希望に適合したスマートハウスの仕様について企画します。
2. 夫々の希望を実現するための手順や段取りについてアドバイスします。
3. ご希望のスマートハウス実現に向けてトータルコーディネートします。



消費者が安心して相談できる専門家を認定（紹介）することが
スマートハウスの普及を促進する

インテリジェント化する家と家電のスペシャリスト

進化するスマートハウスの設営に向けて、ゼロエネルギーハウスの構築や安全・安心・快適な家づくりに必要な知識を問うもので、期待するポイントは次のようになっています。



スマートマスターのポイント



1. スマートハウスの将来性とメリットについて説明できる。

3. スマートハウス化に向けたリフォームビジネスのポイントを理解し、実務のための基礎ができている。

5. 主要なエネルギー関連商材について説明できる。

7. 新たな技術を搭載した家電製品の特徴とそこから生まれるサービスの予測・動向について説明できる。

2. ゼロエネルギーハウス構築のための構成要件とその推進手順を理解している。

4. HEMSをゲートウェイとすることで受けることができるサービスについて説明できる。

6. 主要な家電製品の基礎知識およびインテリジェント化が進む家電製品の動向を理解し、お客様のニーズに沿った的確な商品選択ができる。

8. 家電製品を含め、スマートハウス構築に関連する法規やルールを理解するとともに、お客様に対する説明スキルを身につけている。

<参考(カリキュラム概要)> カリキュラムは、資格認定に必要な知識要件を意味しています。

区分	章	節	区分	章	節						
スマート ハウスの 基礎	スマート ハウス概論	1章 総論	スマート ハウスの 基礎	スマート ハウスの コア知識	5章 リフォーム・住宅設備	1. リフォームビジネスの基本 (リフォームビジネスにおけるCSと トータルソリューションの重要性)					
		2章 中心課題たる エネルギー問題				1. “スマート”を求める背景	2. リフォーム業務の基礎知識				
						1. 電力システム改革	3. リフォームにおける住宅設備				
						2. エネルギーの創造	1)過半を占める「住宅設備リフォーム」				
						3. エネルギーの蓄積	2)エコキュート (自然冷媒CO2ヒートポンプ式給湯機)				
		3章 スマートハウスを 中心としたサービスの展開				4. エネルギーの見える化と制御	3)換気扇				
	1. 家のインテリジェント化					4)キッチンリフォームの住宅設備と基礎知識					
	2. 各種サービスの誕生					5)サンタリーのリフォームの住宅設備と基礎知識					
	3. 高齢社会の進展と 生活支援サービス					6章 関連法規					
	スマート ハウスの 基礎	1章 HEMS				1. HEMSとは	家 電 製 品	関連 家電技術と 製品	1章 インテリジェント化する 家電製品	1. 省エネ住宅ポイント	
						2. ECHONET・ECHONET Lite				2. 家・建物・建築関連の法規	
						3. 計測ユニット				3. 省エネ、創蓄設備および通信関連の法規	
						4. HEMSコントローラー				2章 新たなサービスを 生むNeo家電	1. エアコン
						5. 端末機器					2. 冷蔵庫
6. HEMSの設置工事			3. 照明機器								
7. 関連サービスとそのメリット			4. テレビ受信機								
2章 スマートメーター		1. スマートメーターとは	5. 空気清浄機								
		2. スマートメーターの機能	6. 通信技術								
		3. スマートメーターの種類	1. スマートフォン・タブレット								
		4. 通信方式	2. ネットワークカメラ								
3章 新エネルギーと蓄電		5. スマートメーターの活用により 実現されるサービス	3章 CS・関連法規	3. ロボットクリーナー							
		1. 太陽光発電システム		4. ヘルスケア家電							
		2. 住宅用蓄電システム		1. CS							
	3. 燃料電池コージェネレーションシステム	2. 礼儀・マナーの基本									
4章 家自体の省エネルギー	4. 創電・蓄電連携によるメリット	3. 販売前のCSポイント									
	1. 省エネ住宅・エコ住宅	4. 販売時のCSポイント									
	2. 省エネ住宅・エコ住宅のための施工・技術	5. 販売後のCSポイント									
	3. 家自体のスマートハウス化リフォーム	6. 不具合発生時のCSポイント									
	4. 住宅建築・リフォーム関係資格	7. 家電製品関連法規									

補足) 上表のカリキュラムは2016年1月のテキスト発売時点を想定して策定したものであり、その後の社会情勢の変化や技術革新・新製品動向などを踏まえて、原則、毎年、見直しを実施する計画です。

学習用テキスト(初版)の概要

* テキスト仕様

- ・ ページ数 B5判 並製 / 440ページ(オール2色)
- ・ 定 価 本体価格 3,800円 + 税

* 発 売 日 2016年 1月 26日(火)

* 発 売 元 (株)NHK出版



監修

早稲田大学 先進理工学部 教授
スマート社会技術融合研究機構 機構長
先進グリッド技術研究所 所長 林 泰弘
神奈川工科大学 創造工学部ホームエレクトロニクス開発学科 教授
スマートハウス研究センター 所長 一色 正男
日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校
一般財団法人 コージェネレーション・エネルギー高度利用センター
一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会
一般社団法人 太陽光発電協会
一般社団法人 電子情報技術産業協会
一般社団法人 電池工業会
一般社団法人 日本電機工業会
一般社団法人 日本ホームヘルス機器協会
一般社団法人 日本冷凍空調工業会
一般社団法人 燃料電池普及促進協会

執筆委員

一般財団法人 家電製品協会
日立アプライアンス (株)
東芝ライテック (株)
(株) 東芝
三菱電機 (株)
シャープ (株)
パナソニック (株)
パナソニック (株)
アトリエ モナド
サクラ・ワーク (株)
三菱電機 (株)
三菱電機 (株)
ソニーマーケティング (株)
シャープ (株)
日立アプライアンス (株)
一般財団法人 家電製品協会

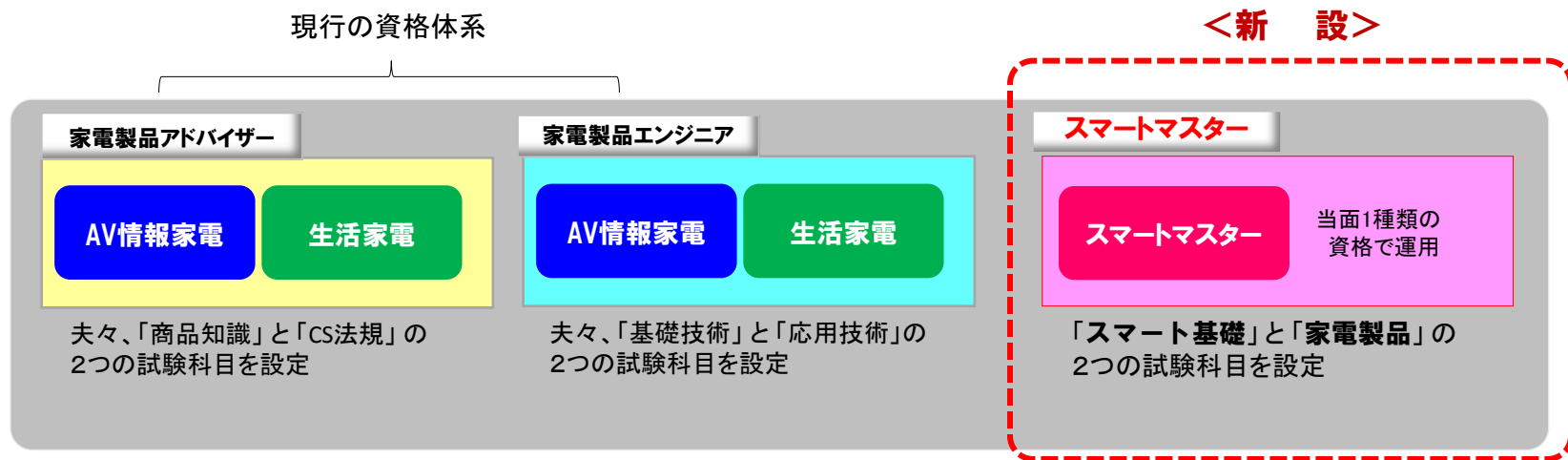
森 拓生
森 浩史
北川 晃一
菊地 弘光
西田 正実
立林 夏樹
阿尾 直樹
喜多 一郎
廣瀬 妙子
桜川茜依子
木下 英之
金子 秀樹
河内 幸紀
三橋 玲子
白石 健司
片山 泰三

3. 制度の概要

1) 資格の名称と導入時期

名称：**スマートマスター** 導入時期：**2016年度**（2016年9月に初の認定試験を実施）

- ・現行の家電製品アドバイザー、家電製品エンジニアに並ぶ『**3つ目の資格制度**』です。



2) 試験科目と資格認定要件

試験科目は「**スマートハウスの基礎**」と「**家電製品**」の2科目です。
内容はP 10 のカリキュラム表をご参照ください。

3) 試験日と試験会場

毎年9月と3月の年に2回、全国主要都市にて実施します。
(家電製品アドバイザー試験と同時開催)

4) 試験科目と合格基準

- * 試験科目は「スマートハウスの基礎」と「家電製品」の2科目です。
- * 上記2つの試験科目共に「140点以上/200点満点」を取得することが合格基準(※)
※上記合格基準は試験結果の全体状況により変動することがあります。

<補足>

- ・試験の合否は上記の科目単位で決定し、合格した科目については、向こう2回の試験にて当該科目の試験を免除します。(不合格であった科目に合格することで資格を取得できます)
- ・家電製品総合アドバイザーもしくは家電製品総合エンジニアの資格を保有している方については、家電製品科目の試験を免除します。

注) 資格を総合化していない場合でも、AV情報家電と生活家電の両資格を保有している場合は同様に家電製品科目の試験を免除します。

5) 資格の交付と有効期間

上記の試験(9月・3月)の結果、合格者には、それぞれ11月1日付・5月1日付にて**認定証を交付**します。資格の有効期間は、**資格交付日から5年間**です。但し、資格更新制度があります。



6) 受験料

9,230円(2科目受験)、1科目受験の場合は6,180円(家電製品アドバイザーと同じ)

4. 制度導入までの経過と第1回試験の結果

- 2012年4月、スマートハウス普及のための資格制度導入について検討を開始
- 2014年には半年を費やして「feasibility study(テキストの執筆実験)」を実施
- 2015年4月～12月にテキストづくり(執筆・編集)を完遂し、同テキストを2016年1月26日発売を決定

■2016.1.22 記者発表会を開催、新制度導入を説明

- 1)日 時 1月22日(金) 11:00 ～ 11:40
- 2)場 所 家電製品協会 第1・第2会議室
- 3)参加者 計43社・49名
- 4)説明者 家電製品協会、一色教授(エンドース)



■2016.5月～7月 東名阪ほかにて「学習促進セミナー」を開催

- 1)開催場所 東京・大阪(各2回)、名古屋・金沢・福岡(各1回)
- 2)参加人員 7会場計 730名(会場収容能力により制限)



■2016.9月4日、7日 全国主要都市にて「初回・認定試験」を開催

- 1)開催場所 全国28会場
- 2)受験人員 受験申請者3,177名(実受験者2,961名)



初回試験の結果

受験者の属性

- * 家電大型店・地域店および家電メーカーの3者で全体の約8割を占めるが、ハウスメーカー等の建築関係、電力会社等のエネルギー関係などの家電業界以外の受験者が全体の2割を占めました。
- * 家電業界以外には、初回試験の周知が十分に行き渡らなかったという事情があるものの、建築関連やエネルギー関連等より多数の応募があったということは、これらの分野の受験ポテンシャルの大きさを物語っています。

合格者の数・合格率

単位:人

	一般受験	科目受験(※)	計
受験者数	1,516	1,445	2,961
合格者数	515	1,088	1,603
合格率	34.0%	75.3%	54.1%

※科目受験

家電製品アドバイザーもしくは家電製品エンジニアの総合資格を保有している場合は、試験科目のうち「家電製品」の試験を免除されます。(試験科目のうち、「スマートハウスの基礎」1科目に合格することでスマートマスター資格を取得できます)

単位:人

	試験科目	試験科目		備考
		家電製品	スマートハウスの基礎	
	科目別受験者数	1511	2961	
得点分布 (人)	190点以上	5	95	
	180点台	24	304	
	170点台	57	409	
	160点台	99	478	
	150点台	169	448	
	140点台	214	371	資格合格ライン(140点以上)
	130点台	269	327	(資格合格ラインまであと少し)
	120点台	251	239	
	110点台	211	141	
	110点未満	212	149	
	科目別合格者計(率)	568	2105	37.6% 71.1%

次回試験の計画

全国統一
試験日

2017年 3月5日(日)・8日(水)

エンジニア試験は3月5日(日)のみ実施。
また、スマートマスター・アドバイザーの試験は、上記試験日のうち
いずれかの一かのみ受験可(重複受験はできません)。

受験申請
受付期間

2016年 12月1日(木) ~ 2017年 1月25日(水)

受験申請方法

認定センターホームページよりインターネットによる受験申請をお
願いします。受験料は、クレジットカード、コンビニエンスストアなどの
電子決済となります。

科目合格
された方に

2016年3月または2016年9月の試験に科目合格された方は、当該科目
の受験が免除されます。また、アドバイザー・AV情報家電または生活家電
の資格をお持ちの方は、CS・法規(共通)の試験が免除されます。

試験日	試験対象の資格	試験科目			
		1限目 (10:00~11:15)	2限目 (11:45~13:00)	3限目 (13:55~15:10)	4限目 (15:40~16:55)
3月5日 日曜日	スマートマスター	—	—	家電製品	スマートハウスの基礎
	家電製品アドバイザー	AV情報家電 商品知識・取扱	CSと関連法規	生活家電 商品知識・取扱	—
	家電製品エンジニア	AV情報家電 基礎技術	AV情報家電 応用技術	生活家電 基礎技術	生活家電 応用技術
3月8日 水曜日	スマートマスター	—	—	家電製品	スマートハウスの基礎
	家電製品アドバイザー	AV情報家電 商品知識・取扱	CSと関連法規	生活家電 商品知識・取扱	—

試験地

地 区	3月5日(日曜日)試験	3月8日(水曜日)試験
北 海 道	札幌、旭川	札幌、帯広
東 北	仙台	青森、盛岡、仙台、秋田*
関東・甲信越	東京、松本、新潟、高崎、水戸、宇都宮	東京、横浜、新潟、高崎、水戸、宇都宮
東 海・北 陸	名古屋、金沢、静岡	名古屋、金沢、静岡
近 畿	大阪、神戸	大阪、神戸、京都
中 国	広島、岡山、松江	広島、岡山、松江、山口
四 国	高松	高松、松山
九州・沖縄	福岡、熊本、鹿児島、那覇	福岡、熊本、宮崎、鹿児島、那覇

* 開催会場


5. 今後の課題と展開構想

1) 足元の課題 消費者の皆さまにスマートマスターの存在とその役割を知っていただくこと

11/21ニュース
リリース配信

2016年11月21日

NEWS RELEASE

 一般財団法人家電製品協会

スマートハウスのことなら「スマートマスター」におまかせください

「スマートマスター資格保有者がいるお店・オフィス」を一挙公開

一般財団法人 家電製品協会は、本年11月1日、インテリジェント化する家と家電のスペシャリストとして、1,603名を初の「スマートマスター」に認定しました。

すでにこれらの方々は、初代「スマートマスター」として、日本全国でスマートハウス普及に関わる業務をスタートしています。

今回の「スマートマスター資格保有者がいるお店・オフィス」の公開で、消費者が「スマートマスター」の居場所を簡単に確認できるようになり、より円滑な相談が可能になります。最近、スマートハウスという言葉をよく耳にしますが、スマートハウスの構築には、「家の構造や断熱性能」、「新エネルギー・蓄電」、「家中のエネルギー・マネジメント・システム(HEMS)」さらには「介護支援や遠隔医療等の新たなサービスを実現するためのつながる家電」など、様々な技術と製品をお客様のニーズに沿って組み合わせしていく高度な知識とスキルを要します。これら複雑に絡み合った内容を正しく理解し、お客様への提案力をもった人材、それが新たに認定した「スマートマスター」です。

今後、急速に拡大するご街のスマートマスター」を

家電製品協会のホームページ (<http://www.aeha.or.jp/nintei-center/>) にて

「スマートマスターがいるお店・オフィス」を常時公開中

(中略)

また、お店・オフィス側でも、「登録証(※1 ステッカー)」や「のぼり(※2)」を掲げるなど、分かりやすい工夫をしてお客様をお迎えいたします。ぜひ、IoT時代を先導するスマートマスターの活躍にご期待ください。



※1 登録証(ステッカー)



※2 店頭用のぼり

ホームページなどで消費者の皆さまに分かりやすく解説

■スマートハウスってどんな住まい？

暮らす人の幸せを追求する住まい、それがスマートハウスです。

スマートハウスという言葉が最近、よく耳にしませんか？スマートハウスによって私たちの暮らしはどう変わるのでしようか？スマートハウスが目指すものは大きく分けてふたつあります。ひとつはご家庭のエネルギーを「創る」「蓄える」「省エネする」ことで、実質的にエネルギーの消費を抑えること。もうひとつはお年寄りからお子さままで、すべての人がより安心して快適に暮らせるお手伝いをすることです。暮らす人の幸せを追求する住まい、それがスマートハウスです。

スマートハウスが目指すふたつのこと

- ① 住まいの構造・断熱性能の確保、創エネ・蓄エネ・省エネによるエネルギーマネジメントの徹底などにより、実質的なエネルギーの消費を抑制できる住まい「ZEH ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」を目指します。

Point 「ZEH ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」はエネルギー問題（化石燃料依存が高止まり）に対応すると同時に、新たに発効されたCOP21/パリ協定における「CO2排出量削減目標（2030年に2013年比▲26%）の達成」に向けた具体的な施策のひとつになっています。



- ② IoT、AI、ビッグデータ、ロボットなどの先進技術を活用し、これまで単独で活用されてきた機器やサービスが相互につながり連携しあることで、新たな利便性・安全性・快適性を暮らしに届けます。

Point 少子高齢化に伴う「独居老人の見守り」や「介護問題」、さらにはご家庭における「健康管理」や「防犯・防災」など、社会・暮らしの課題解決を目指します。

(中略)

エネルギーマネジメントサービス

- ・電気使用量、電気料金モニター
- ・エアコン/換気扇/照明/ブラインド協調省エネ運転
- ・契約電力デマンド制御

ホームセキュリティーサービス

- ・防火（火災、ガス漏れ、漏電監視）
- ・防災（漏水検知、地震対応、凍結防止）
- ・防犯（訪問者管理、侵入者防止）

機器リモートメンテナンスサービス

- ・宅内機器遠隔故障診断・保守
- ・宅内機器運転遠隔コンサルタント

快適生活支援サービス

- ・ブラインド/換気扇/照明の集中操作
- ・宅内機器スケジュール運転（予冷、予熱）

ホームヘルスケアサービス

- ・健康管理サービス
（病院、健康アドバイザー会社）
- ・高齢者生活ケアサービス
- ・在宅医療機器監視・制御

モバイルサービス

- ・宅内機器運転状況遠隔モニター
- ・宅内機器遠隔操作、施設操作
- ・訪問者、高齢者生活状況遠隔モニター



■スマートマスターってどんな人？

あなたのスマートハウスづくりをお手伝いするプロフェッショナルです。

スマートマスターは、当協会が実施する資格試験に合格したスマートハウスのプロフェッショナルです。スマートハウスとひとりでいっても、それぞれの住まいによって必要な設備やサービスが異なり、スマートハウスのカタチはさまざまです。スマートマスターは住まいの構造から家電製品や住宅設備、さらには省エネ管理まで、豊富な知識を活かし、あなたの住まいに合ったスマートハウスづくりをサポートします。

(中略)

【お役立ち事例】こんなとき、ぜひスマートマスターにご相談ください！

住まいを新築したい、リフォームしたい

- ・新築する住まいをスマートハウスにしたい
- ・いまの住まいをリフォームしてスマートハウスにしたい
- ・「ZEH ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」を建てたい
- ・高齢の両親が快適に暮らせる住まいにリフォームしたい
- ・改築から家電のネットワークまでまるごとまかせたい等々

もっと省エネしたい

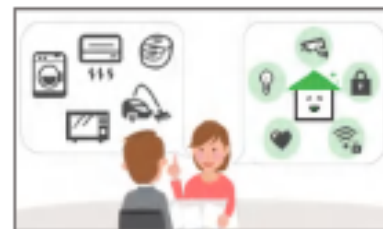
- ・設置済みの太陽光発電をもっと有効に活用したい
- ・HEMSを設置して、住まいのエネルギーを管理したい
- ・地球にやさしい住まいで暮らしたい等々

もっと快適に暮らしたい

- ・家電同士をつないで、もっと便利に使いたい
- ・省エネでしかも暖かい、そんな住まいで暮らしたい
- ・一人暮らしの親が心配！離れていても見守りはできる？等々

あれが知りたい、これを教えて！

- ・スマートハウスの話を聞いてみたい
- ・「ZEH ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」ってどんな住まい？
- ・エネルギーの創・蓄・省って何？教えてほしい
- ・将来建てるスマートハウスでも使える家電製品を選びたい等々



スマートマスター
ってどんな人

スマートマスター
はどこにいる

スマートマスターがいるお店 一覧

あなたの街のスマートマスターをお探してください

※このリストは2016年11月14日現在の状況です。今後この情報は、毎月末に更新する予定です。

※法人名・店舗名／所在地／電話番号の順で記載をしています。

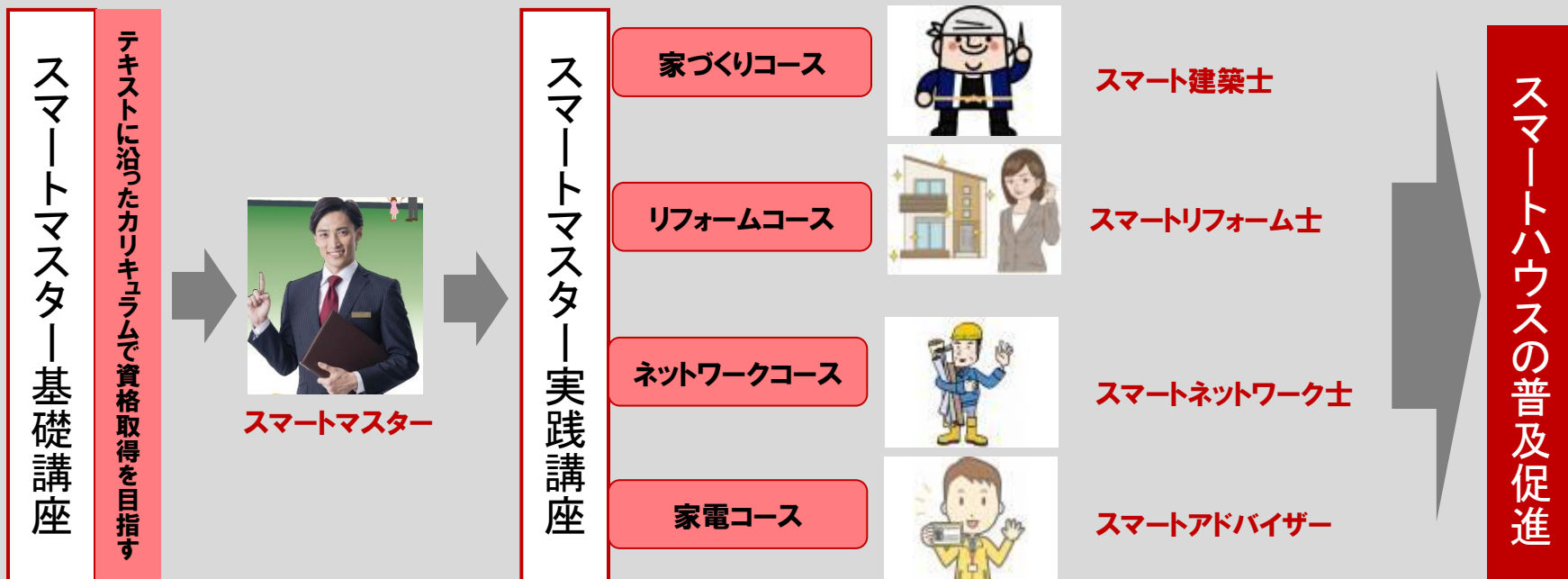
北海道					
(株)伊藤電機商会	豊州市富士町	0143-88-1222	(株)ヤマダ電機 777777'沼島店	沼島市松原町	042-519-2960
菅木産業(株)	滝川市流通団地	0125-22-1379	(株)ヤマダ電機 LABI品川大井町	品川区東大井	03-5479-7600
100ポルト旭川本店	旭川市西御料五条	0166-60-8880	複合会管理(株)	多摩市鶴牧	042-359-5811
100ポルト旭川永山店	旭川市永山二条	0166-49-2700	ジョーシン板橋前野店	板橋区前野町	03-8967-3511
100ポルト帯広本店	帯広市帯田町南9線西	0155-48-2939	ジョーシン西東京保谷店	西東京市保谷町	042-482-0711
100ポルト帯広西店	帯広市西二十二条南	0155-37-1139	ジョーシンアウトレット三鷹店	三鷹市野崎	0422-31-6251
100ポルト釧路店	釧路区釧路町末場	0154-39-3300	ジョーシンつるかかわ店	町田市金井	042-734-4751
100ポルト札幌清田店	札幌市清田区真栄	011-889-6100	テックランド小金井店	小金井市市末町	042-382-5111
ベスト電器 函館店	函館市昭和	0138-41-1000	でんかのヤマグチ 板岸店	町田市板岸	042-793-1348
			でんかのヤマグチ 藤理店	町田市忠生	042-793-4898
宮城県			山慶電器産業(株)	甘田谷区代田	03-8411-2723
(株)コジマ コジマ×ビックカメラ イオンモール名取店	名取市社せきのした	022-784-1220	千葉県		

(略)

2) 中期的な課題

スマートハウスの普及スピードに対応するためには人材育成プログラムが必要

スマートマスター育成総合講座 (Smart Master Career Development = SMCD)



実現には、既存の“業界”を超越した「知識のコラボレーション」が不可欠



一般財団法人家電製品協会